



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月7日

上場会社名 株式会社 ザッパラス

上場取引所 東

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 川嶋 真理

問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ ゼネラルマネジャー (氏名) 小林 真人

TEL 03-6434-1036

四半期報告書提出予定日 平成26年3月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	5,811	△12.3	459	△61.7	499	△62.7	319	△64.3
25年4月期第3四半期	6,627	△14.0	1,198	△41.3	1,340	△34.6	894	△28.7

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 443百万円 (△46.2%) 25年4月期第3四半期 825百万円 (△34.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	25.28	25.13
25年4月期第3四半期	71.24	70.53

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年11月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第3四半期	9,719	8,335	85.2	653.60
25年4月期	10,126	8,409	82.4	661.83

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 8,282百万円 25年4月期 8,347百万円

(注) 1株当たり純資産については、平成25年11月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	4,200.00	4,200.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年11月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。平成25年4月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△7.8	700	△50.8	710	△57.1	380	△58.6	29.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年4月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期3Q	13,591,000 株	25年4月期	13,531,000 株
② 期末自己株式数	26年4月期3Q	918,500 株	25年4月期	918,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期3Q	12,625,543 株	25年4月期3Q	12,560,797 株

(注)発行済株式数については、平成25年11月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした新興国経済における成長減速等の懸念材料が見受けられたものの、政府の経済政策や日銀の金融政策によって円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気回復が徐々に現実のものとなってまいりました。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場が平成24年度には2兆3,507億円（前期比23.3%増）となり、拡大傾向が継続しましたが(*1)、モバイルコンテンツ市場8,510億円（前期比15.9%増）のうち、フィーチャーフォン(*2)市場は4,793億円（前期比26.7%減）と急激に市場が縮小する一方で、スマートフォン(*3)市場は3,717億円（前期比361.2%増）と急成長している状況にあります。

このようにモバイルユーザーのフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行がより一層進む中、当社グループでは、コンテンツ事業においてフィーチャーフォンユーザー及びスマートフォンユーザーの各動向に対して様々な対応策を講じてまいりました。

また、コマース関連事業においては独自性かつ付加価値の高い商材を取り揃えるべく、商品ラインナップの拡充に努めるほか、前連結会計年度に立ち上げた新たなスタイルのコマースサイトの育成に注力してまいりました。

加えて平成24年12月に設立した米国の子会社において海外における事業展開を本格的に始動しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,811,747千円（前年同期比12.3%減）、営業利益459,301千円（前年同期比61.7%減）、経常利益499,713千円（前年同期比62.7%減）、四半期純利益319,194千円（前年同期比64.3%減）となりました。

*1:「2012年モバイルコンテンツ関連市場規模」一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム平成25年8月9日公表の報道資料より引用。

*2:通話機能を主体とし、その他にカメラやワンセグをはじめとする機能を搭載している従来型携帯電話のこと。

*3:iPhoneやAndroidに代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間よりスマートフォンへの対応の一環として広告収益の獲得を目的とする部署を新設したことに伴い、従来「コンテンツ事業」に含めておりました一部コンテンツ等を「その他」セグメントに含めるよう変更しております。また、組織変更を行ったことに伴い各報告セグメントに含まれるコンテンツ等の見直しを行っております。よって以下、前年同期比較につきましては、当該組替え後の数字を基準としております。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、拡大するスマートフォンユーザーを取り込むべく新たな集客の仕組みづくりに努めるほか、新たなフォーマットに対応したコンテンツの投入や個別課金メニュー等サービスの拡充に継続して取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、フィーチャーフォン向けサービスの売上減少を補うまでには至りませんでした。スマートフォン向けサービスの拡充や広告、CRM(*4)による入会数の増加に加え、個別課金メニューやスゴ得、auスマートパス、LINE占い等スマートフォンアプリの増加により、スマートフォン向けサービスの売上高は着実に増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,352,760千円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益は1,519,424千円（前年同期比25.4%減）となりました。

*4:情報システムを応用して企業が顧客と長期的な関係を築く手法のこと。

②コマース関連事業

Eコマース事業につきましては、前連結会計年度より開始した新たなスタイルのコマースサイトの育成に注力してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、「藤巻百貨店」「スタイレスト」等の新規コマースサイトにおけるfacebookを活用した販促活動等が奏功し売上高は増加しましたが、人員増や広告宣伝等によるコストが増加する結果となりました。

また株式会社ビーバイイーは、当第3四半期連結累計期間において計画していた新商品の発売が遅延したことにより、大規模な新商品の投入を実施した前第3四半期連結累計期間と比較して売上高が減少、セグメント損失が拡大しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は926,872千円（前年同期比26.0%減）、セグメント損失は237,049千円（前年同期は39,310千円のセグメント損失）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、米国に拠点を置く当社100%子会社であるZappallas, Inc. (U.S.)が古いコンテンツビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き体制基盤強化のためのスタッフの増員に加えて、営業、管理のオペレーション整備を実施いたしました。米国での古いコンテンツビジネスは主に広告収入にて展開しておりますが、広告営業のてこ入れや提携先の拡充等の施策により広告収入が増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は369,685千円、セグメント損失は48,249千円となりました。

なお、海外事業につきましては、前第3四半期連結会計期間から開始しているため前期比は記載しておりません。

④その他の事業

その他の事業につきましては、モバイルサイト開発受託や電話占い(*5)の運営のほか、広告販売や有料コンテンツへの送客を目的とした無料サイトの運営などを行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、電話占いの売上高が増加したものの、モバイルサイト開発受託の減少や「前略プロフィール」広告売上の減少により売上高が減少しました。また、利益面につきましては売上高の減少に加え、スマートフォンへの集客施策等のコストも増加する結果となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は162,429千円（前年同期比12.5%減）、セグメント損失は317,485千円（前年同期は209,206千円のセグメント損失）となりました。

*5:携帯電話や固定電話を介して直接占いや相談ができるサービスのこと。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して406,669千円減少し、9,719,641千円となりました。その主な要因は、売上高の減少による売掛金の減少額427,157千円によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して332,666千円減少し、1,383,689千円となりました。その主な要因は、未払法人税等の増加額23,427千円があったものの、買掛金の減少額72,932千円、未払金の減少額159,907千円、長期借入金等の減少額100,628千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して74,003千円減少し、8,335,952千円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加額132,107千円があったものの、配当金の支払等による利益剰余金の減少額210,530千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年6月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年3月7日に公表いたしました「平成26年4月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、株式会社PINKの株式を取得したため連結の範囲に含めております。また、みなし取得日を平成25年12月31日としており、当第3四半期連結会計期間におきましては、貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,188,950	4,291,305
売掛金	1,696,899	1,269,742
有価証券	503,856	504,055
商品及び製品	67,658	110,640
未収還付法人税等	88,167	—
短期貸付金	—	3,897
その他	194,023	157,029
貸倒引当金	△15,240	△10,577
流動資産合計	6,724,317	6,326,093
固定資産		
有形固定資産	137,266	148,761
無形固定資産		
ソフトウェア	369,462	260,082
のれん	1,991,846	2,039,260
その他	53,416	57,159
無形固定資産合計	2,414,726	2,356,502
投資その他の資産		
投資有価証券	500,152	499,587
長期貸付金	—	43,100
破産更生債権等	—	2,131
その他	349,848	370,169
貸倒引当金	—	△26,704
投資その他の資産合計	850,001	888,284
固定資産合計	3,401,994	3,393,548
資産合計	10,126,311	9,719,641
負債の部		
流動負債		
買掛金	304,100	231,167
未払金	454,311	294,403
1年内返済予定の長期借入金	190,643	186,638
未払法人税等	384	23,811
ポイント引当金	10,685	13,264
返品調整引当金	—	4,870
その他	124,434	98,688
流動負債合計	1,084,557	852,843
固定負債		
長期借入金	630,790	530,162
その他	1,008	684
固定負債合計	631,798	530,846
負債合計	1,716,355	1,383,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,464,343	1,470,343
資本剰余金	1,389,718	1,395,718
利益剰余金	6,952,913	6,742,382
自己株式	△1,418,644	△1,418,644
株主資本合計	8,388,331	8,189,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,804	94
為替換算調整勘定	△39,212	92,894
その他の包括利益累計額合計	△41,016	92,988
少数株主持分	62,641	53,162
純資産合計	8,409,955	8,335,952
負債純資産合計	10,126,311	9,719,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	6,627,560	5,811,747
売上原価	2,038,711	1,814,380
売上総利益	4,588,849	3,997,366
返品調整引当金繰入額	—	7,822
返品調整引当金戻入額	10,476	2,952
差引売上総利益	4,599,325	3,992,496
販売費及び一般管理費	3,400,416	3,533,195
営業利益	1,198,909	459,301
営業外収益		
受取利息	968	876
為替差益	127,350	64,003
貸倒引当金戻入額	10,732	2,530
投資事業組合投資利益	851	—
その他	4,288	6,185
営業外収益合計	144,191	73,596
営業外費用		
支払利息	2,624	5,054
貸倒引当金繰入額	—	24,572
持分法による投資損失	18	—
投資事業組合投資損失	—	3,529
その他	82	26
営業外費用合計	2,725	33,183
経常利益	1,340,375	499,713
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,848
特別利益合計	—	12,848
特別損失		
固定資産除売却損	3,619	726
商品廃棄損	21,398	—
特別損失合計	25,017	726
税金等調整前四半期純利益	1,315,358	511,835
法人税、住民税及び事業税	303,440	202,049
法人税等調整額	107,686	69
法人税等合計	411,126	202,119
少数株主損益調整前四半期純利益	904,231	309,715
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9,437	△9,478
四半期純利益	894,793	319,194

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	904,231	309,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,582	1,898
為替換算調整勘定	△77,394	132,107
その他の包括利益合計	△78,976	134,005
四半期包括利益	825,254	443,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	815,817	453,199
少数株主に係る四半期包括利益	9,437	△9,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,167,991	1,252,964	20,960	6,441,917	185,643	6,627,560	—	6,627,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,167,991	1,252,964	20,960	6,441,917	185,643	6,627,560	—	6,627,560
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,037,799	△39,310	1,847	2,000,336	△209,206	1,791,129	(592,220)	1,198,909

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社子会社にて米国NameMedia, inc. より、同社傘下の占い事業を譲受けております。これによる当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は1,393,457千円であり、「海外事業」セグメントにおける増加であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

当第3四半期連結会計期間に米国をはじめとする海外市場での事業展開を目的として、平成24年12月7日においてコンテンツ配信を担うZappallas, Inc. (U.S.)を設立したことに伴い、報告セグメント「海外事業」を新たに追加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年5月1日 至平成26年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,352,760	926,872	369,685	5,649,318	162,429	5,811,747	—	5,811,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,352,760	926,872	369,685	5,649,318	162,429	5,811,747	—	5,811,747
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,519,424	△237,049	△48,249	1,234,125	△317,485	916,640	(457,338)	459,301

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、スマートフォンへの集客施策の一環として広告収益の獲得を目的とする部署を新設したことに伴い、従来の報告セグメントでは「コンテンツ事業」に含めておりました一部コンテンツ等を「その他」に含めるよう変更しております。また、組織変更を行ったことに伴い各報告セグメントに含まれるコンテンツ等の見直しを行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、集計方法変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいと考えられるため、記載を省略しております。